Asteria(アステリア) シリーズ

光度計

AdmesyのAsteriaは、照度や輝度の測定に適したハイスピード光度計です。高速で安定した測定が可能なため、光源の波形を測定し、フリッカー特性を把握することができます。インラインで使用できるように設計されているので、生産ラインや研究開発用途にも簡単に組み込むことができます。
Asteriaには複数の構成モデルが用意されています。

主な特徴

人の眼に準じた絶対照度、絶対光度の測定：CIE 1931 輝度関数

対応フリッカー規格
照明：フリッカーパーセンテージ
フリッカーインデックス
IEEE 1789 recommendation
ディスプレイ：JEITA、VESA、
コントラスト

高周波・低周波の測定

超高サンプルレート
(186,567サンプル/秒)
大容量メモリ搭載

Windows, Linux & macOS

スタンドアロンソフトウェア、
主要なプログラミング言語を
サポート C++, C#, Labview,
Matlab, Python



ADMESY

admesy.com/series/asteria

Asteriaの活用事例
米国エネルギー省でのフリッカー測定



米国エネルギー省(DOE)は、エネルギー安全保障と経済についての助言を行っていることから、特に固体照明(SSL)の研究にも非常に積極的に取り組んでいます。

2016年、エネルギー省は、実験室で使用するために、複数の市販のフリッカー測定ソリューションを比較しました。そこでAdmesyのAsteriaが好評価を頂き、以来、エネルギー省のフリッカー測定の基準機として、PNNL(パシフィックノースウェスト国立研究所)の照明計測研究所に常設されており、研究などに使用されています。

2018年11月、エネルギー省は「携帯型測定機を用いた光フリッカーの特性評価」に関する新しいレポートを発表し、そこでAsteriaが比較対象の中で、携帯型測定機の基準機として使用されました。DOEでは、Asteriaを常設して使用していますが、Asteriaは非常に小型でコンパクトなので、「on the go」規格の手持ち測定にも簡単に対応できるということは…ノートパソコンかタブレットがあれば測定が行えてしまうのです!

仕 様

モデル	Asteria照度計	Asteria輝度計
検出器	シリコンフォトダイオード	シリコンフォトダイオード
スペクトル応答	CIE 1931輝度曲線に近似	CIE 1931輝度曲線に近似
光学系	1 cm^2 コサインコレクタ、ランバーシャン応答	10 mm 径コリメーティングレンズ
測定パラメータ	照度、光度、フリッカー(パーセンテージ、インデックス)、波形	輝度、フリッカー(JEITA、VESA、コントラスト)、波形
測定速度 サンプリングモード	186 567サンプル/秒 最大250 000サンプル対応メモリ	186 567サンプル/秒 最大250 000サンプル対応メモリ
積算モード範囲	0.05 lx – 150 000 lx 積算時間1ミリ秒〜5秒にて	0.005 cd/m^2 – 15 000 cd/m^2
サンプリングモード範囲	10 lx – 150 000 lx	1 cd/m^2 – 15 000 cd/m^2
照度/輝度精度	± 2 %	± 2 %
繰り返し性	± 0.03 %	± 0.03 %
インターフェース	USB 2.0, RS 232, トリガー入出力	USB 2.0, RS 232, トリガー入出力
寸法(高×幅×奥行)	69 mm x 31 mm x 93 mm	69 mm x 31 mm x 93 mm
重量	320 g	320 g
動作温度	10 °C – 35 °C	10 °C – 35 °C

詳細仕様の資料は以下のURLからダウンロードできます。
admesy.com/downloads

ADMESY

info@admesy.com